

適用規格						
定 格	使用温度範囲	-55℃ ~ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ~ +50℃(梱包状態)		
	電 圧	AC/DC 40V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下(結露しないこと)		
	電 流	0.25A(全芯数通電する場合は×70%)	適合ケーブル	t=0.2±0.03mm : 接触部 : 金めっき		
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電 氣 的 性 能	耐電圧	AC 120 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○	
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	500 MΩ以上	○	○	
	接触抵抗	開回路電圧AC/DC 20 mV以下, 1 mAで測定する。	100 mΩ以下 ※FPC導体抵抗を含む。(測定長 8 mm)	○	○	
機 械 的 性 能	耐振性	周波数 10~55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 3 軸方向各 10 サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗: 100 mΩ以下 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	衝撃	加速度 981 m/s ² , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。		○	-	
	繰返し動作	20 回の抜き差しを行う。		○	-	
	FPC保持力	適合FPCで測定する。 (初期, FPC端末厚 t=0.20mm)		○	-	
環 境 的 性 能	塩水噴霧	温度 35±2 °C, 濃度 5 %の塩水噴霧中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗: 100 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。 ③ はなはだしい腐食がないこと。	○	-	
	温度サイクル	温度 -55→+15~+35→+85→+15~+35 °C 時間 30 → 2~3 → 30→ 2~3 分 に 5 サイクル放置する。		○	-	
	定常状態の耐湿性	温度 40±2 °C, 相対湿度 90~95 %中に 96 時間放置する。		○	-	
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10~+65 °C, 相対湿度 90~96 %中に 10 サイクル(240 時間)放置する。		○	-	
	耐熱性	温度 85±2 °C中に, 96 時間放置する。		○	-	
	耐寒性	温度 -55±3 °C中に, 96 時間放置する。		○	-	
	二酸化硫黄 [JIS C 60068-2-42]	温度 40±2 °C, 相対湿度 80±5 %, 濃度 25±5 ppmに, 96 時間放置する。		○	-	
	硫化水素 [JIS C 60068-2-43]	温度 40±2 °C, 相対湿度 80±5 %, 濃度 10~15 ppmに, 96 時間放置する。		○	-	
	はんだ付け性	はんだ温度 235±3 °C, 浸せき時間 2±0.5 秒 間のはんだ付けを行う。		はんだ浸せき面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	-
	はんだ耐熱性	1) リフローの場合 ピーク温度 250 °C MAX リフロー部温度 230 °C以上, 60 秒以内 2) はんだこての場合 350±10 °C, 5±1 秒間		外観の変形, 及び端子などに 著しいガタがないこと。(注2)	○	-
△の数	訂正記事	設計	検図	年月日		
△						
備考 試験規格の記載のない試験方法は, IEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。			承認	NF. MIYAZAKI	16.03.30	
注1) 本品のロック方式は, フリップロック(回転ワッパ構造)であり, FPCに垂直方向の荷重が 加わる場合は, FPCを固定してご使用願います。			検 図	YH. MICHIDA	16.03.30	
注2) モールドに若干膨れが発生する場合がありますが, 製品性能上問題ありません。			担 当	KN. KOBAYASHI	16.03.30	
			製 図	RN. IIDA	16.03.24	
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番		SLC-355229-99-00	
HRS	製品規格表		製品名		FH29DJ-*S-0.2SHW(99)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL580	
					△	1/1